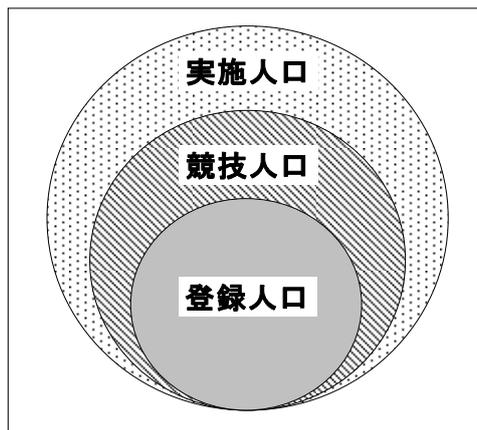


### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 競技人口と登録制度に関する調査

スポーツの種目ごとの普及状況を示す概念として「競技人口」がある。しかし、その定義は必ずしも明確ではない。実際に把握ないし推計されているのは、登録人口（登録競技者数）と実施人口である。登録競技者数は、文字どおり各競技団体に登録されている競技者の数であるが、市民スポーツイベントとして行われる各競技の大会など、競技団体が参加者の氏名やその数を把握できていないものも少なくない。これとは別に、たとえば笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」のスポーツ実施率の統計に人口を乗じて「スポーツ実施人口」を推計することができるが、この中には、競技者ではない人、たまにそのスポーツを楽しむ人も含まれている。これら「登録人口」「競技人口」「実施人口」の関係を示せば図1のようになる。以下では中央競技団体の回答をもとに、主に登録人口と制度についてみていく。

図1 登録人口、競技人口、実施人口の関係



#### 1-1 登録制度の有無

競技者の登録制度については、回答を得た68団体のうち、登録制度が「ある」団体は60団体（88.2%）であった。そのうち、個人の登録制度のみある団体が28団体（41.2%）、チームの登録制度のみある団体が2団体（2.9%）、個人・チームともに登録制度がある団体が30団体（44.1%）であった（表2）。

表2 中央競技団体の登録制度（n=68）

登録種別	団体数	%
個人の登録制度のみあり	28	41.2
チームの登録制度のみあり	2	2.9
個人・チームともに登録制度あり	30	44.1
登録制度なし	8	11.8

## 1-2 登録競技者数

表3に中央競技団体の登録競技者数(またはチーム数)を示した。野球に関しては、年齢によるカテゴリー(少年野球、高校野球、社会人野球など)、性別によるカテゴリー(女子野球)、使用するボールによるカテゴリー(硬式、軟式)のそれぞれに統轄団体が存在しているため、「野球」を統轄し、登録競技者数の全体を把握している団体は存在しない。しかし、わが国の現状を鑑みるに、競技人口が多いと推測されるため、それぞれの統轄団体の情報を合計し、参考値として記載した。

個人登録者数についてみると、最も多いのがサッカーの96万3,340人で、以下、バスケットボール(61万9,823人)、ソフトテニス(45万1,227人)、バレーボール(39万6,974人)、陸上競技(38万2,142人)の順となっている。登録チーム数についてみると、最も多いのは、軟式野球(5万4,910チーム)で、以下、バスケットボール(3万4,284チーム)、サッカー(2万8,533チーム)、バレーボール(2万7,742チーム)の順となっている。登録競技者数と登録チーム数がともに集計されているバスケットボールでは、1チームあたりの平均登録者数が18.1人、サッカーでは33.8人と、一般に試合に必要な人数(5人または11人)の3倍以上であった。本調査で個人の登録制度があると回答した58団体の登録者を合計すると、488万8,137人であった。登録者数を性別にみると、多くの種目で男性が女性を上回っているが、エアロビック、体操、チアリーディング、バドミントン、バレーボールなどでは、女性の登録者・チームのほうが多い。

表3 中央競技団体の登録競技者数および登録チーム数

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)全日本アーチェリー連盟	13,212	9,513	3,699
日本アームレスリング連盟	3,000 [80]	2,700	300
(公財)合気会	×	×	×
(公財)日本アイスホッケー連盟	19,923 [920]	18,379 [839]	1,544 [81]
(公社)日本アメリカンフットボール協会	×	×	×
(一社)日本ウエイトリフティング協会	3,420	3,009	411
(公社)日本エアロビック連盟	1,512	462	1,050
日本オーケーゴルフ協会	*	*	*
(公社)日本オリエンテーリング協会	707	587	120

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)日本カーリング協会	2,500	1,800	700
(公社)日本カヌー連盟	6,519 [589]	- [324]	- [265]
(一社)日本カバディ協会	129	95	34
(公財)全日本空手道連盟	81,052	-	-
日本キャスティング協会	×	×	×
(公財)全日本弓道連盟	139,550	73,774	65,776
(公社)日本近代五種協会	80	66	14
(一社)全日本空道連盟	10 [2]	10 [2]	0
(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会	190,262 [3,799]	-	-
(特非)日本クリケット協会	×	×	×
(社)日本クレー射撃協会	×	×	×
(公社)日本ゲートボール連合	*	*	*
(一財)全日本剣道連盟	*	*	*
(公財)日本ゴルフ協会	362,246	327,203	35,043
(一社)日本サーフィン連盟	10,001 [1,205]	8,618	1,383
(公財)日本サッカー協会	963,340 [28,533]	917,359 [27,124]	45,981 [1,409]
(公社)日本山岳協会	8,428	6,521	1,907
(公財)日本自転車競技連盟	6,510	6,118	392
(公社)全日本銃剣道連盟	27,000	-	-
(公財)全日本柔道連盟	175,540 [9,751]	145,363	30,177
(一財)少林寺拳法連盟	47,405 [1,153]	35,280	12,125
(公財)日本水泳連盟	116,000 [6,066]	-	-
(特非)日本水上スキー連盟	×	×	×
(特非)日本水中スポーツ連盟	3,200 [59]	1,650	1,550

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
東京スカイダイビングクラブ	*	*	*
(公社)日本スカッシュ協会	1,784 [190]	-	-
(公財)全日本スキー連盟	×	×	×
(公財)日本スケート連盟	9,560	-	-
(公財)日本相撲連盟	×	×	×
日本スポーツアクロ体操協会	44 [5]	10	34
(公社)日本スポーツチャンバラ協会	×	×	×
国際スポーツチャンバラ協会	×	×	×
(公財)日本セーリング連盟	10,000	-	-
(一社)日本セパタクロー協会	×	×	×
(公財)日本ソフトテニス連盟	451,227 [14,886]	233,681	217,546
(公財)日本ソフトボール協会	130,978 [10,293]	87,861 [7,239]	43,117 [3,054]
(公社)日本ダーツ協会	×	×	×
(公財)日本体操協会	27,079 [2,730 <sup>*1</sup> ]	8,317 [342]	18,762 [1,411]
(公財)日本卓球協会	316,618	194,488	122,130
(公社)日本ダンススポーツ連盟	20,230	-	-
(公社)日本チアリーディング協会	-	[1]	[400]
(公社)日本綱引連盟	2,172 <sup>*2</sup> [192 <sup>*3</sup> ]	1,664 [138]	503 [47]
(一社)全日本テコンドー協会	×	×	×
(公財)日本テニス協会	12,376	7,770	4,606
(一財)日本ドッジボール協会	×	×	×
(公社)日本トライアスロン連合	×	×	×
日本ドラゴンボート協会	1,364 [47]	1,200 [44]	164 [3]

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公財)全日本なぎなた連盟	*	*	*
(公財)全日本軟式野球連盟	[54,910]	-	-
(一社)日本バイアスロン連盟	415	386	29
(一財)日本バウンドテニス協会	*	*	*
(公社)日本馬術連盟	6,251 [628]	-	-
(公財)日本バスケットボール協会	619,823 [34,284]	348,840 [17,630]	270,983 [16,654]
(公財)日本バドミントン協会	251,000	113,000	138,000
(公財)日本バレーボール協会	396,974 [27,742]	131,229 [10,249]	265,745 [17,493]
(公社)日本パワーリフティング協会	2,469 [206]	-	-
(公財)日本ハンドボール協会	90,074 [4,683]	59,701 [2,800]	30,373 [1,883]
(公社)日本ビリヤード協会	5,400	4,000	1,400
(公社)日本フェンシング協会	5,600	-	-
(公社)日本武術太極拳連盟	*	*	*
(一社)日本フライングディスク協会	3,716 [158]	2,480 [97]	1,236 [61]
(一社)日本ペタンク連盟	×	×	×
(公社)日本ペタンク・ブール協会	×	×	×
(公社)日本ボート協会	8,868 [543]	6,185	2,683
(公財)全日本ボウリング協会	18,590	14,300	4,290
(一社)日本ボクシング連盟	×	×	×
(公社)日本ホッケー協会	10,650	6,426	4,224
(公社)日本ボディビル・フィットネス連盟	112 [439]	55	57
(一社)日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟	×	×	×
日本マウンテンバイク協会	900	800	100

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会	17,517 [396]	15,466	2,051
(一財)全日本野球協会	×	×	×
(公財)日本野球連盟	×	×	×
(特非)日本ライフセービング協会	3,387 [130]	2,444	943
(公社)日本ライフル射撃協会	6,918	5,303	1,615
(公財)日本ラグビーフットボール協会	107,673 [3,132]	104,611	3,062
(特非)日本ラケットボール協会	×	×	×
日本落下傘スポーツ連盟	*	*	*
(公財)日本陸上競技連盟	382,142 [14,489]	252,978	129,164
(公財)日本レスリング協会	10,792 <sup>※4</sup>	8,270	1,551
(特非)日本ローラースポーツ連盟	404	250	154
(参考)野球 <sup>※5</sup>	[64,473]	-	-

\* : 登録制度なしと回答

— : 回答なし

× : 未回収

※1 男女混成 977チーム を含む

※2 性別不明 5人 を含む

※3 男女混成 7チーム を含む

※4 性別不明 971人 を含む

※5 野球は以下の統轄団体の登録チーム数の合計

日本野球連盟、全日本大学野球連盟、日本高等学校野球連盟

日本リトルシニア中学硬式野球協議会、日本少年野球連盟

九州硬式少年野球協会、全日本少年硬式野球連盟

日本ポニーベースボール協会、日本女子野球協会

全国高等学校女子硬式野球連盟、全日本還暦野球連盟

全日本軟式野球連盟、全日本大学軟式野球連盟

全日本大学準硬式野球連盟、全国専門学校野球連盟

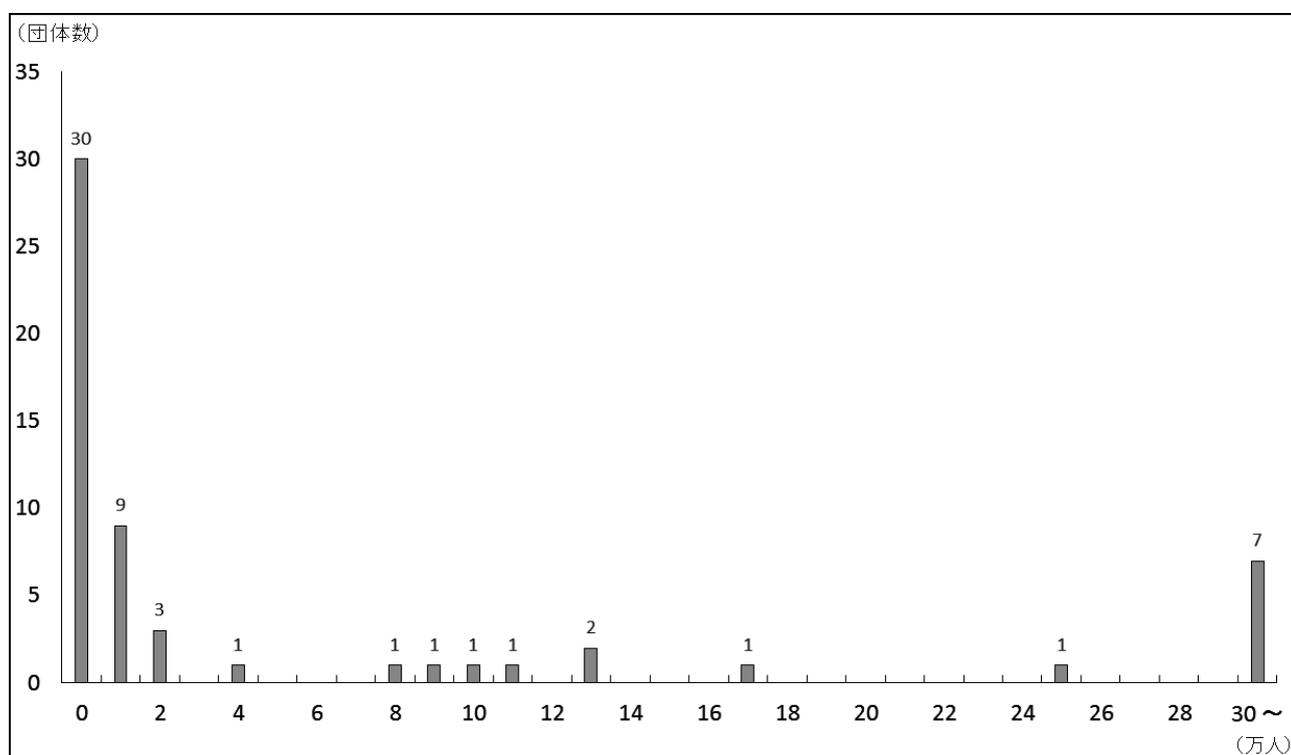
全日本女子軟式野球連盟、全日本大学女子野球連盟、日本中学校体育連盟

### 1-3 登録競技者数の分布

個人登録制度のある58団体を対象として登録競技者数の分布をみた(図2)。

登録競技者数の平均は1団体あたり8万4,905人であるが、最小10人から最大約96万人までとかなり大きな差があった。中央値は9,214人、第1四分位は2,477人、第3四分位は7万2,640人であった。また1万人単位での最頻値は1万人未満(30団体)であり、本調査で登録競技者数の回答が得られた58団体の過半数を占めた。さらにそのうち、1,000人未満が10団体、1,000人以上5,000人未満が11団体と、登録競技者数が5,000人に満たない規模の団体(21団体)が全体の約1/3(36.2%)を占めている。

図2 中央競技団体の登録競技者数の分布



注) 登録競技者数は万人単位。したがって、「0」は9,999人以下を示す。